

滑川中学校区保護者を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	R1夏開催の「市長と語る会」		進捗状況(R2冬)
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	
①通学区域(1)	通学区域の設定に関する審議会に出席した際、校区の見直しは行わないという結論に至ったが、そういった結論しか出せないのであれば、会議を行う意味がないと思う。生活の基準は小学校区だと思う。学区の見直しというのは、地区・町内会にメスを入れることなので、難しいこととは思いますが、学校のバランスを考えると見直しを実施してもらいたいと思う。	同様の問題は昔から存在します。町内の中で校区が異なると、町内行事に参加しない人が出てくるという問題もあります。田中小学校区と西部小学校区の境界には宅地が造成されており、昔とは状況が変わってきています。しっかりと協議を重ねて、根気強く解決していかなければならない問題だと思っています。	—
②通学区域(2)	坪川町内会は浜加積地区であるが、寺家小学校区と東部小学校区に分かれている。住民運動会は、東部小学校で実施されているが、寺家小学校に通う坪川町内会の子どもは、体操服が違うため事実上参加できていない。町内会が違うので、東地区の住民運動会にも参加できない。子どもたちのことを考えると、町内会を分けた方が良いのではないかという意見もあるが、町内同士の繋がりもあり、先延ばしになっている。子どもたちがそのような状況にあることを知っておいてほしい。	通学区域は、町内会単位で設定するという原則に沿って決めています。新しく住宅が造成された場合は、両地区の了解を得て協議会で校区を設定しています。校区を変更する場合は地区と学校両方の了解を得なければならないと思います。今回の会議では、現行の通学区域の中で要望のあった箇所について議論しており、浜加積地区について要望は聞いていませんが、また問題点についてお聞かせいただきたいと思います。	—
③児童館アウトドア広場	小さい子どもや高齢者が散歩をしていて、疲れた時に休憩できるように、蛍の小径にベンチを設置して欲しい。	児童館のアウトドア広場には、ビオトープを設置し、自然の中で学ぶことができる環境を整える予定です。ご提言につきましては、蛍の小径沿いに、ベンチを2つほど設置したいと思います。	令和元年度に、ベンチを2つ設置しました。
④ガードレール	全国的に子どもが自動車に巻き込まれる事故が多発している。寺家小学校の海側にはガードレールが設置してあるが、市役所側にも設置できないか。	冬場の除雪等の関係で、今のところ歩道と車道の物理的な分離は行っていないが、今後境界ブロックの設置等を検討したいと思います。	市役所側にドライバーへの注意喚起としてラバーポールを整備し、小泉荒町線と滑川富山線との交差点(寺家踏切前)に防護柵を設置したところ。
⑤タブレット(1)	各小中学校にタブレットを導入しているが、将来的にタブレットをどのように活用していくつもりなのか教えてほしい。	今年度、全小学校に1学級分のタブレットを配備する予定です。先生と画面を共有したり、タブレットを使って意見発表をしたりします。プログラミングの授業でも活用することを想定しています。将来的には、学習ソフトを導入し、自宅でも情報を共有することも考えられます。	令和2年度、全小中学校の児童生徒に1人1台情報端末を整備することとしています。各教科の授業で活用することとしており、自分の考えを人に伝え、他の人の考えを取り入れる学び合いができるようになると考えています。また、令和2年度より小学校で必修化されたプログラミング教育等でも活用します。
⑥タブレット(2)	ハードの導入が完了する頃には、最初に導入した機材が古くなっているという問題が発生すると思われる。また、機材の導入も大切だが、ツールをどう使うかを教えなければ、良いツールを導入しても効果が薄れてしまい、使い方に対する格差も生まれると思う。タブレットをどのように使うか、いかに早く家庭とリンクさせるかも重要であると思うので、タブレットで子どもたちに何をさせるか将来的な活用イメージを明確にしてほしいと思う。	滑川市では、子どもたちが将来、ワードやエクセル等基本的なソフトを使えるように、高度なソフトをもったIT機器ではなく、基本的なソフトのみのタブレットを導入しています。今や、登録すれば様々なソフトウェアを使えるようになっています。既存のソフトをうまく利用し、タブレットの使い方を教えていきたいと考えています。また、タブレットはどんどん進化していますが、共通の機材が揃わなくても、同じソフトを使うことで同一の教育を受けることができます。現状に満足することはできないと感じていますので、セキュリティと使い方をしっかりと学びながら学習環境を整えていきたいと思っています。	
⑦防災訓練	先日、上市川の増水で避難勧告が出た際に、田中小学校へ避難をしたが、設備が整っていなかったと聞いた。また、田中小学校の備蓄庫の場所や中身について、まだまだ地区の方に浸透していないものと思われるので、備蓄庫の中のものを使った訓練や、田中小学校のヘリポートを実際使った訓練を実施できないか。子どもたちにとっても、実際に経験してみることは大切だと思うので、そういった機会を作っていただければと思う。	昨年の上市川の増水の際、初めて「避難準備・高齢者等避難開始」を発令しましたが、多くの課題が浮かび上がりましたので、今年5月に職員を対象にした避難所の開設訓練を実施しました。この中で、椅子や備蓄品などが、どこにどれだけあるかといった新たな課題も見つかりましたので、学校ごとに一覧表を整備しているところです。また、地区の防災訓練における備蓄品の活用については検討したいと思います。	平成30年7月に初めて避難所を開設した際の反省点を踏まえ、避難所開設時に必要な物品を小中学校に配備したほか、小中学校から借用するマットや跳び箱等の数や保管場所を示した図面を作成しました。さらに、今年度は新型コロナウイルス等感染症対策として整備した段ボール間仕切りやベッドを組み立てる訓練を各地区で順次実施しているところです。

滑川中学校区保護者を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	R1夏開催の「市長と語る会」		
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	進捗状況(R2冬)
⑧文化施設	滑川市はスポーツ施設が充実しているが、吹奏楽や合唱のためのホール等、文化面で利用できる施設が足りていないと思う。そういった施設を中滑川駅前等に設置してもらえないか。	中滑川駅前に練習用の部屋を造るのも良いかと思います。現在、文化ホールの建設は検討していませんが、市民の方々のニーズを踏まえ検討すべきことでありますので、ご意見を参考とさせていただきたいと思います。	—
⑨スケートボード	中央公園でスケートボードをしている人がいる。スケートボードのコースなどを作ってあげれば良いのではないか。	整備すればスケートボードをやる人が増えると思います。ご意見については、参考とさせていただきます。	今後、再整備等の時期には参考とさせていただきます。